

令和6年滝沢市議会
議会報告会～おでんせ会議～
開催報告書



滝 沢 市 議 会

目 次

開催一覧・まとめ……………P. 1

《添付資料》議会報告会資料……………P. 3

各班報告書

滝沢第二小学校区……………P. 24

柳沢小学校区……………P. 35

滝沢東小学校区……………P. 47

滝沢小学校区……………P. 55

鵜飼小学校区……………P. 66

一本木小学校区……………P. 78

滝沢中央小学校区……………P. 84

篠木小学校区……………P. 93

姥屋敷小学校区……………P. 107

令和6年滝沢市議会 議会報告会～おでんせ会議～ 開催一覧

開催日	対象小学校区	会場
5月17日(金)	滝沢第二小学校	滝沢市第二小学校(第2音楽室)
6月1日(土)	柳沢小学校	柳沢コミュニティセンター
10日(月)	滝沢東小学校	岩姫台集会所
11日(火)	滝沢小学校	滝沢ふるさと交流館
18日(火)	鵜飼小学校	鵜飼小学校(会議室)
21日(金)	一本木小学校	北部コミュニティセンター
27日(木)	滝沢中央小学校	滝沢中央小学校(多目的教室)
	篠木小学校	滝沢市多目的研修センター
7月13日(土)	姥屋敷小学校	姥屋敷多目的研修センター

《まとめ》

滝沢市議会では、滝沢市議会基本条例第9条の規定に基づき、「令和6年議会報告会～おでんせ会議～」を5月17日から7月13日までの日程で開催しました。

昨年7月の改選以降、今任期初めて開催した今回の議会報告会は、従来の実施手法を見直し、開催場所を市内小学校区(全9か所)とするほか、意見交換については各常任委員会における所管事務調査の範囲で行うなど、一部変更して実施しました。

各会場では、令和5年度に議会で作成した「議会プロフィール」の紹介をはじめ、議会が一丸となって課題に取り組む流れを示した「政策サイクル」の説明を踏まえた報告を行い、その後、3常任委員会における進行中の所管事務調査について、ワールドカフェ形式で意見交換を行いました。前回の議会報告会と比較すると、参加者数が増えただけではなく、子育て世代や働き世代の方々からも活発なご意見をいただき、今後の滝沢市について幅広い意見交換を行うことができました。

今回の議会報告会を通して、より広く市民の方々の声を聴くことができ、さらに、より広く市民の方々に向けて滝沢市議会の情報を発信することができました。

今後も、「開かれた議会」「市民とともに歩む議会」「行動する議会」の理念の下で、議会報告会で各地域からいただいた課題や意見を踏まえ、より一層市民の負託に応えられるよう、市民福祉の向上のため議会活動に取り組んでまいります。

滝沢市議会

添付資料 1

議会報告会資料

第1部 議会報告

第2部 意見交換

第1部 議会報告

- ・ 滝沢市議会議会プロフィールについて
- ・ 滝沢市議会政策サイクルについて など

滝沢市議会では

- 議会基本条例制定から10年

滝沢市議会は「開かれた議会」「市民とともに歩む議会」「行動する議会」を掲げ、議会基本条例を制定してから10年が経ちました。

- 議会が4年間で目指す姿を具体化

より市民に身近な議会活動を進めるために、市議会では「議会プロフィール」（市議会が4年間でめざす姿と取り組むポイントをまとめたもの）を策定し、継続して改革に取り組むこととしました。

議会プロフィールとは・・・

「今、滝沢市議会はどのような議会か」また「今後、どのような議会を目指していくのか」について、自己評価や地域、市民ニーズの変化等の社会環境などを踏まえ「議会が何に取り組むか（取り組む課題の設定）」を1枚のシートにまとめたものです。

- ・ 議会に期待される役割（ミッション）
- ・ 議会がめざす姿（ビジョン）
- ・ 具体的な行動や取り組みを考える



※議会プロフィールの詳細はこちら！
(リンク先:市議会ホームページ)

議会ビジョンとは・・・

市議会の目指す理想的な姿として、

2024 滝沢市議会ビジョン

を決定しました。

2024 滝沢市議会ビジョン

市政課題を市民と対話し

解決に向け

共に取り組む議会



滝沢市議会ビジョン実現へ向けて

議会に期待される役割「ミッション」を次のとおり決定しました。

<ミッション>

議会基本条例に基づき、政策サイクルを構築し、確実に回す。

ミッションでは、市民との対話を深め、様々な立場からの幅広いニーズや意見を取り入れ、政策を作っていくことに取り組みます。

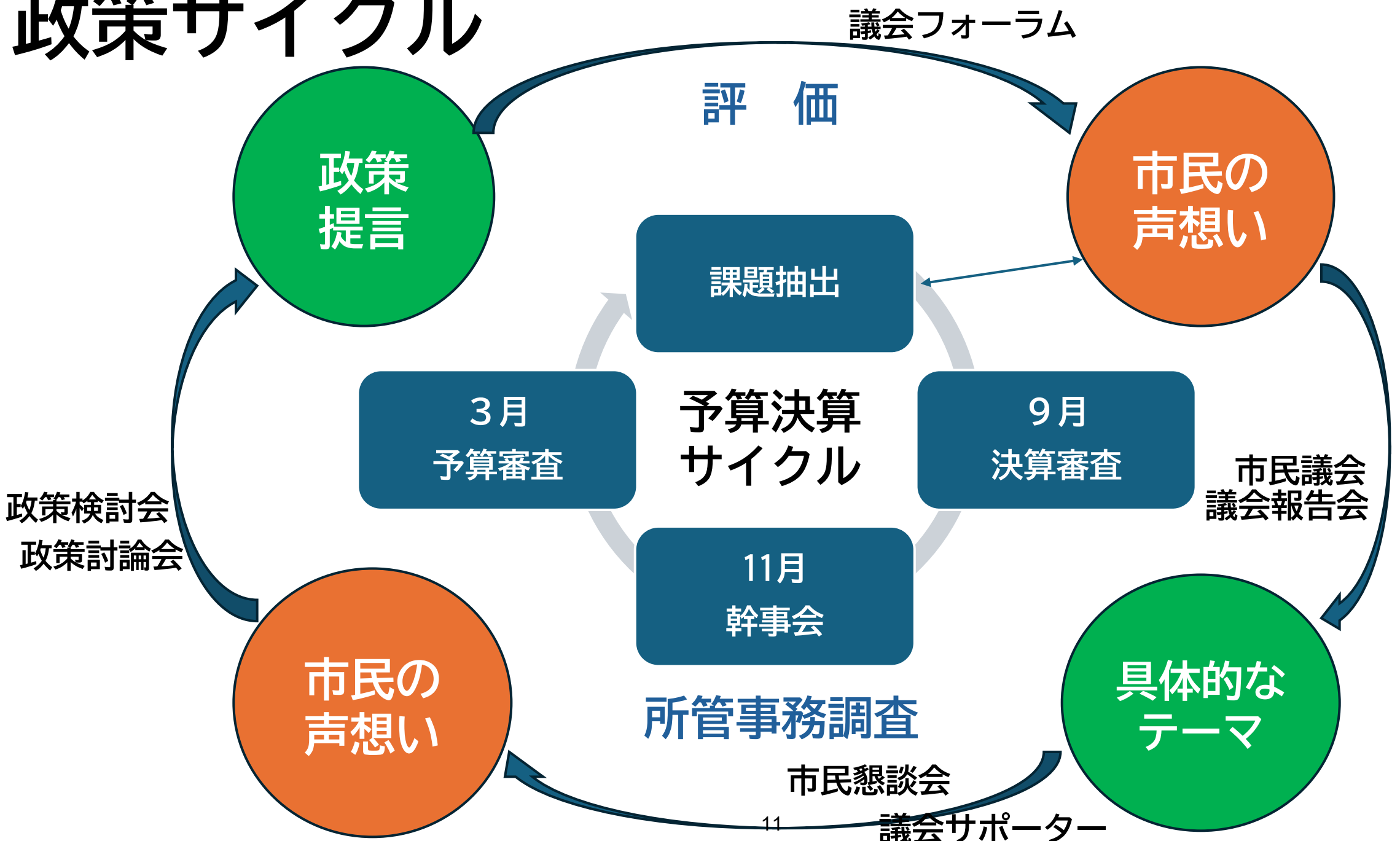
- 政策提言のガイドライン策定や活用
- 政策討論会、政策検討会の実施
- 議会サポーターの活用

政策サイクルとは・・・

政策サイクルとは、議会が丸となって課題に取り組む流れです。

- ①市民の声・想いを聴き、
 - ②市政課題の確認と解決すべき課題を特定し、
 - ③課題解決のための有効な手段を市に質疑したり、専門家や市民とともに議論して、
 - ④必要に応じ、市に対して解決に向けた政策提言を行います。
 - ⑤提言した場合、提言の内容が市政に反映されたかをチェックし、一連の取り組みを評価します。
- (①に戻る)

政策サイクル



常任委員会の所管事務調査のテーマ

総務教育分野

- ICT教育について

環境厚生分野

- 総合福祉センター（仮称）について

産業建設分野

- 交通弱者対策について
- 中心拠点を核とした交通網の整備について

これからの 滝沢市議会

「2024 滝沢市議会ビジョン」
を掲げ、より

「開かれた議会」

「市民とともに歩む議会」

「行動する議会」

を実現するため、市民の想いを
大切に、市民の福祉向上を目指
して議会運営に取り組んでいき
ます。



市政課題を市民と対話し
解決に向け 共に取り組みます

滝沢市議会

令和6年滝沢市議会議会報告会 「第2部 意見交換」

「対話」の補助ツール「SOUNDカード™」

場の活性化を促す「言える化ツール」
どんな話題でも、メンバーでも「対話」が可能



SOUNDカード™の基本動作



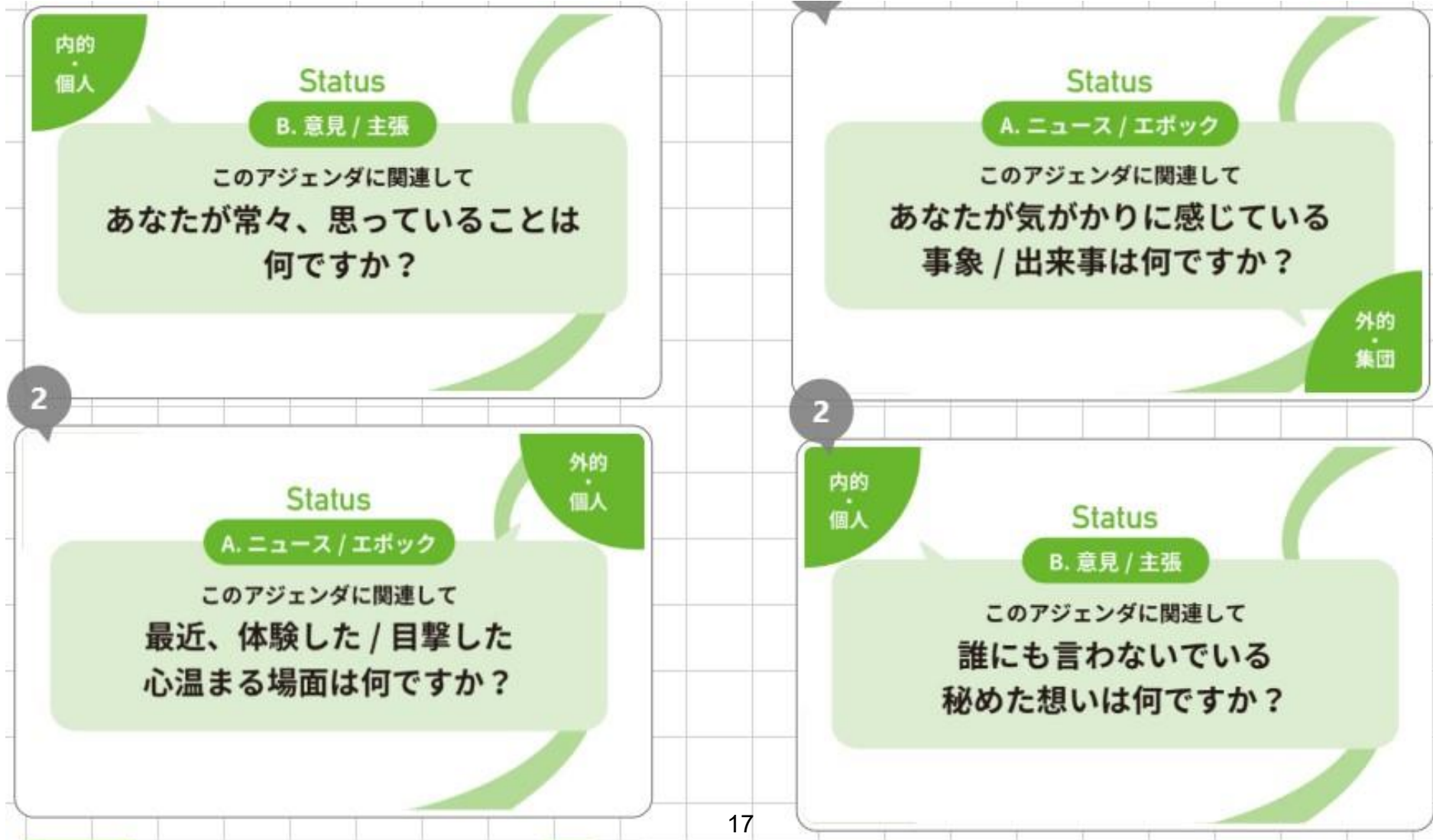
カードを並べて選ぶ



選んだカードについて話す

「SOUNDカード™」には「問い」が書かれています

「SOUNDカード™」には、それぞれ違った「問い」が書かれています。



緊張をほぐしましょう！

〈アジェンダ（お題）〉



「最近の仕事以外の
私の話し」について

導入

アジェンダ 「最近の仕事以外の私の話し」について

- アジェンダについて話したいと思う「問い」を、立って各自1枚ずつ選び、選んだら座る。
- 発表の順番を決める。
- 話し手は、まず「問い」を読み上げ、その後、1分程度で「問い」に対する答えを述べる。
- 聴き手は、静かに耳を傾けて、話を聴く。
- 一巡したら、自由に浮かび上がったことを「対話」する。

総務教育常任委員会

所管事務調査

【調査項目】

ICT教育について

【サブタイトル】

タブレットの家庭学習の心配事は

【設定理由・目的】

児童生徒一人ひとりにタブレット端末の配布、学校現場への電子黒板の導入と、教育のデジタル化が進んでいる一方で、その活用については、まだ十分と言えない状況です。特に家庭学習にも活用できれば、学力向上や不登校対策などにも有効と考え、滝沢市の教育の発展のため、調査研究を行います。

【調査のポイント】

- ・タブレット端末の家庭学習での活用
- ・学校現場でのタブレット端末、電子黒板の活用
- ・児童生徒の不登校対策としての活用

環境厚生常任委員会

所管事務調査

【調査項目】

総合福祉センター(仮称)について

【サブタイトル】

充実した生活を提供するための「子ども・子育て支援」と「地域 活動支援」そして「相談体制の整備」

【設定理由・目的】

手狭である現況の市民福祉センターに対するソフト面(人材や情報、サービス内容等)、ハード面(施設や設備、道具等)を補充、改善させることが重要であると考え、子ども、高齢者、障がい者も含め、全ての市民に対し、各種の福祉サービスや活動の場を提供するため、調査研究を行います。

【調査のポイント】

- ・子ども・子育て支援(気軽な情報交換や悩み相談、ひとり親世帯の支援、地域協働による居場所づくり等)
- ・地域活動支援(楽しく学習できる環境づくり、福祉増進の更なる活動、市民に必要な情報提供や援助、ボランティア活動等)
- ・相談体制の整備(市民からの相談に的確に対応できる体制整備)

産業建設常任委員会

所管事務調査

【調査項目】

- ・交通弱者対策について
- ・中心拠点を核とした交通網の整備について

【サブタイトル】

公共交通網の整備について

【設定理由・目的】

- ・交通弱者対策
行きたい時に行きたい所へ行ける交通手段の確保
- ・中心拠点を核とした交通網整備
各地区につながる放射状の路線整備

【調査のポイント】

- ・公平性の確保
地域格差が生じないような対策
- ・利便性の確保
利用者ニーズに沿った運行
- ・計画性
スケジュールの構築

添付資料 2

各班報告書（会場別）

議会報告会 開催報告書 (2 班)

会 場	滝沢第二小学校 (第2音楽室)
実 施 日 時	令和 6 年 5 月 17 日 (金) 午前 11 時 00 分 ～ 午後 0 時 35 分
小 学 校 区 名	滝沢第二小学校
出席議員氏名 (議長含む)	藤原 治 奥津 一俊 仲田 孝行 菅野 福雄 安部 理絵 鍵本 桂 井上 仁 (欠席者：)
参加人数 (議員除く)	合計 : 13 名

記録者 : 奥津 一俊

参加者の発言等一覧

委員会名：総務教育常任委員会

No.	発言等内容
1	生活のリズムが乱れないか（はまりすぎる子がいる）
2	学習と学習以外の利用のバランス・・・メディア中毒
3	読書（紙の本）離れ・・・脳科学的に前頭葉の発達と関連
4	学習以外の使用（ゲーム等）
5	メディア使用についてのマナーを徹底
6	親が管理をどうすれば良いか悩む 頭が悪くならないか
7	使用時間の管理をどのようにするか
8	使用の仕方 使用時間 兄弟の使用、本人以外の使用があるかも
9	子どもが本来の利用以外の利用をすることが心配
10	安全性（悪いサイトへの接続）

参加者の発言等一覧

委員会名：総務教育常任委員会

No.	発言等内容
11	使用方法の徹底（使用ミス予防、故障予防）
12	利用頻度が多くなると金額が心配
13	責任の所在はどこかはっきりさせる
14	壊した時、破損時の保険は
15	持ち帰りすることでどのような力をつけたいのか
16	学習内容についてどのレベルを考えているのか
17	子どもたちの能力とか学習がわかるか
18	デジタルにネイティブな子どもたちに合っている
19	そもそもなぜICT教育、持ち帰りか
20	学力向上のためには必要

参加者の発言等一覧

委員会名：総務教育常任委員会

No.	発言等内容
21	心配することないと思う

参加者の発言等一覧

委員会名：環境厚生常任委員会

No.	発言等内容
1	滝二小の通学路で、歩道がなく危険な箇所がある。児童に危ないと何度注意しても改善されない。消えかかった路側帯を引く、注意の看板を設置するなどの対策が必要では。
2	仕事で外国に3年住んでいた。日本は「誰かがやってくれる」と受け身だが、外国は自己責任の考えである。危険なことをするのが子どもだと受け入れる寛容な社会になることが重要。
3	市に相談をしても親身に聞いてくれるのだが、アドバイスで終わっていると感じる。「サービス」を超えた「手立て」までいかないと、救えない子、家庭がある。
4	滝沢市は今後も人口が増えると思っている。「ゆりかごから墓場まで」を考えれば、総合福祉センターは絶対に必要だと考えている。支援につなぐ専門的な相談員の確保が必要である。
5	保育園に入れない子ども（待機児童）がいる。市内では入れないため盛岡の園に入れているとの話も聞いた。地域で子どもを育てる環境が必要。
6	歩道のない通学路の除雪で道路課に話しても通学路の把握はしていない、どこからも要請がないと言われる。教育委員会との連携はしていないのか。通学路の除雪は最優先して欲しい。
7	滝沢市だけが貧弱な施設になっている。他自治体をみても滝沢市は力が入っていない。
8	理容師です。以前高齢者に頼まれて、個人的に訪問理容をしたい旨を社協に相談したところ「資格があっても店を出してないからダメだ」と言われた。ボランティアしやすい環境が必要である。
9	子育て支援センターでは地域の方が週1でボランティアに来ており、相談や交流できる場になっている。総合福祉センターが親さんたちにとって気軽に苦しさを話すことができるセンターにして欲しい。メールなどなら？
10	乳幼児健診時から福祉サービスとのつながりを強化。発達の課題を早期発見し、後の不適応、不登校予防のためにも早い支援が重要。他市町ではそういう取組がされているが本市は不十分である。

参加者の発言等一覧

委員会名：環境厚生常任委員会

No.	発言等内容
11	ボランティアセンター 提供できることと助けて欲しいことのマッチング
12	ソフト面の充実（パートタイム人材、大学生の力） 大学生にもメリットを（対価として食事を提供するなど）
13	虐待、発達などについての専門的な知識のある人の採用 また、一時保護の対応を可能にすること

参加者の発言等一覧

委員会名：産業建設常任委員会

No.	発言等内容 (交通弱者対策について)
1	お年寄りのお買い物バスがあるとよい
2	自動運転のモデル地区に立候補
3	ドローンによる配送モデル地区
4	行けないのなら迎えに来てほしい
5	交通弱者の思いやり政策を
6	大型バスからマイクロバスへ
7	滝沢市の優秀な人材が県外に出ないよう 国立の医科大学の設立を
8	ライドシェアの先進導入を
9	交通弱者対策に児童の意見を取り入れてほしい 今の状況では見えない

参加者の発言等一覧

委員会名：産業建設常任委員会

No.	発言等内容 (中心拠点を核とした交通網の整備について)
1	中心拠点とする根拠は
2	中心拠点計画について市民に明確な周知を
3	バスの種別の多様化を (大) …主要路線 (中) …施設間 (小) …小施設間

アンケートのまとめ

小学校区：滝沢第二小学校

【年代】

年 代	30歳未満	30代	40代	50代	60代	70代以上
合 計			2	3	2	4

感想

年代	記述内容
40代	皆さんのお話を伺い、ついつい熱く語ってしまいました。このような場を作っていただいたことに感謝申し上げます。
40代	グループの方々の意見を聞くことができ良かった。議題が決められていたことが残念でしたが、議員さん方のやりたい事が理解できました。
50代	様々な方々と意見交換ができて良かった。議員さんの思いも聞くことができ、貴重な時間となりました。これからもよろしくお願い致します。
50代	学生達にも意見を求めると新しいアイデアも拾うことができるのでは…と思いました。こういった熟議を重ねることで、より良い考えが引き出せるのでは。とても良い取り組みだと思います。
50代	議会が近くに感じました。
60代	色々な意見がたくさん出て参考になりましたし、勉強になりました。頑張っってこれに取り組んでください。
60代	初めての体験です。今後とも行ってください。
70代以上	市議と話すことができ、良かったと思います。

感想

年代	記述内容
70代以上	市議会が一生懸命に取り組んでいることがわかりました。
70代以上	日頃思っていることをたくさん言いました。
70代以上	初回で大変でしたが、内容が非常に良好でした。

項目	振り返り内容	次回への提案等	
開催期間（ 5月）	特になし		
開催時間（90分）	90分～120分程度が適正	意見交換の時間延長も含め、最大120分	
内容	受付	良好	
	進行	良好	
	第1部説明	一般市民が理解しにくい内容	不要
	SOUNDカード説明	紹介程度	不要
	総務教育	・PTA（保護者世代）の参加が無く、意見が聞けなかった ・一方、ICT教育に詳しい先生の意見が聞けて良かった	依頼の段階等での工夫が必要
	環境厚生	建設的意見が多く見受けられた	継続すべし
	産業建設	交通弱者、中心拠点の意見交換であったが、それ以外の市民の問題提起も拾ってしまった	重点項目のみ意見交換する
	記録（写真・録音）	良好	
	タイムキーパー	3テーブルとの時間調整が難しい	・冒頭に時間制限を強調する必要あり ・タイムキーパーは、別途配置必要では
	準備物確認	良好	
	使用物品搬出入	良好	
報告書作成	良好		
全体で気付いた点	・テーマ選定したことによって、具体的な意見が把握できた ・保護者世代の参加が少なかった	・今後も継続すべし ・依頼段階での工夫が必要	

議会報告会 開催報告書 (3 班)

会 場	柳沢地区コミュニティセンター
実 施 日 時	令和 6 年 6 月 1 日 (土) 午前 10 時 00 分 ～ 午前 11 時 45 分
小 学 校 区 名	柳沢小学校
出席議員氏名 (議 長 含 む)	稲荷場 裕 相原 孝彦 遠藤 秀鬼 日向 裕子 村木 香織 川口 清之 角掛 邦彦 井上 仁 (欠席者 :)
参加人数 (議員除く)	合計 : 13 名

記録者 : 川口 清之

参加者の発言等一覧

委員会名：総務教育常任委員会

No.	発言等内容
1	授業の効率化
2	立体的に理解できる
3	取得した知識を地域の年配の方へ教え、交流を図る
4	時代の変化に対応していくため、子どものうちから使えるようになっているのは良いと思う
5	高校生の娘が全てタブレットで宿題を提出したり、プリントは一切配られず大変苦労した (タブレット学習は) 早ければ早い方が子どもは助かる
6	タブレットは便利だが使い方によると思う
7	Wi-Fi環境を作らないといけない
8	Wi-Fiの整備は個人持ちでよいか
9	電源のこと 使用時間に制限がかかる
10	タブレットを家で壊さないか心配 (飲み物をこぼす等)

参加者の発言等一覧

委員会名：総務教育常任委員会

No.	発言等内容
11	依存症になるのではと心配
12	人対人での教育が減るのではないかと心配
13	文字を書く機会が減る？
14	字を書かないので、いざ書く時に忘れていそう
15	字を書く、覚えることが身につかないことも不安
16	どのような教科に使われるか 書き込んで学ぶ学習に影響しないか？
17	操作不明で学習ができなくなることはないか？
18	大人はルールを守らせることができるのか？（時間、発信の中身など）
19	ゲーム等の感覚があるのでスムーズに取り組めると思う
20	今の子どもたちはゲーム感覚で勉強できそう

参加者の発言等一覧

委員会名：総務教育常任委員会

No.	発言等内容
21	タブレットを活用していくことのメリット・デメリットは？
22	タブレットを使用することになった理由は？ 何のためか？
23	何に有効でどんな失敗事例があるか？ 先行実施校から情報を得る
24	視力、姿勢、心が悪くならないか心配（※視力低下、目への負担懸念など）
25	本を読むことが減る？
26	小さい画面ばかりの学習で、集中力が心配
27	調べたい、見返したいetc・・・ すぐに見えないイメージがある
28	調べ事 情報の信頼性
29	リテラシー教育のため、外部の指導者を招く
30	タブレットの使い過ぎが心配

参加者の発言等一覧

委員会名：総務教育常任委員会

No.	発言等内容
31	故障、壊してしまったときへの対応
32	壊れたら（無くしたら）個人持ち、または市？
33	充電が切れてできない！Etc・・・ 不具合時の対応で子どもとケンカしそう

参加者の発言等一覧

委員会名：環境厚生常任委員会

No.	発言等内容
1	福祉バス停が、学校近くにあるが、利用の仕方の詳しい内容がわからない。周知の方法の改善が必要では。
2	タクシーも予約しなければ乗れない。
3	市民福祉会館が手狭になったのは、福祉メニューが増えたから。相談事をしづらいです。また、相談してもタライ回しにされてしまい相談する気が失せてしまう。
4	水道部の2Fを使用できないのか？
5	給食センターの食器洗浄機の故障で、器を2週間も持参しなければならなかった→トラブルが多すぎる
6	福祉サービスの内容がわからない。 HPで見てもサービスの日付が無く、困惑してしまう。
7	子どもが安心して遊べる場所が欲しい。学童が解散して新しい管理者が民間になった。長期休みには対応していないので、その時は一本木の学童に頼んでいる。
8	子ども達の過ごす場所として校舎を利用できないか？
9	子ども達が、安心して過ごせるように児童館が欲しい。
10	市のHPで陸大学の詳細が見られない。もっと情報発信をして欲しい。

参加者の発言等一覧

委員会名：産業建設常任委員会

No.	発言等内容
1	タクシー利用補助券を配布（1回500円引き）
2	小回りがきく小型バスを広い地域に走らせる
3	冬場に生活に便利な行き先設定のバス
4	運転手不足で宅配など流通に影響が出る 病院・買い物・習い事・部活・通学の足の確保を
5	現在あるもの（福祉バス）をトコトン使ってみる
6	まず情報を知る（公共交通）
7	福祉バスツアーを予定している
8	通学用のバスの運行を（朝と夜1便だけでも良い）
9	学生も利用しやすいバスの送迎を
10	中高生も利用しやすいバスのスケジュールを

参加者の発言等一覧

委員会名：産業建設常任委員会

No.	発言等内容
11	バス網は放射線状ではなく、魚の骨状が良い
12	大型バスではなくワゴン車での送迎を
13	バス停に出られない人のため個人宅へ
14	バス停に出られない方のニーズを確認し、支援を
15	幅広い年齢の方のことを考えてほしい
16	普段の生活を支えてほしい（通学・買い物・役所）
17	福祉バス停まで行けない人も多い
18	福祉バスの充実（週2回→4回）
19	市は中心拠点だけに力を入れているように思う
20	タクシーを利用したい 要望のアンケートを取って

参加者の発言等一覧

委員会名：産業建設常任委員会

No.	発言等内容
21	利用時間のアンケートを取って、良い時間に運行する →空のバスが走らないように
22	福祉バスの周知
23	電車時間に連動したバス運行を
24	通学バス…通学時は駅、学校近くまで 下校時は待っていただける場所を決めて、そこで乗せる
25	自動運転バスの運行で実証実験を
26	カーシェアを推進する I C Tの活用 保証をどうするか？
27	行政のサービス拠点は中央ばかりで偏りがある

アンケートのまとめ

小学校区：柳沢小学校

【年代】

年 代	30歳未満	30代	40代	50代	60代	70代以上
合 計		1	4	5	1	1

感想

年代	記述内容（●は、印象に残っている内容。意見交換（各テーマ））
30代	日頃思っていることを話すことができ良かったです。是非とも今日出た意見への返答やまとめを教えてくださいたいです。
40代	●このような機会を設けていていただきありがとうございます。是非意見を活用していただきたいです。
40代	●意見を反映させて、素敵な滝沢市になることを願っています。
40代	●日頃感じている生活上の意見を伝える場に参加できて有意義でした。少しでも意見をくみ上げていただけると嬉しいです。議員さん頑張れ！！
40代	●初めて参加させていただきました。色々意見を聞いて、大変勉強になりました。よろしく願いいたします。
50代	色々な考えを知ることができ、良かったです。さらに課題意識をもって生活していきたいと思えます。
50代	●市議会の議員さんに、直接意見を伝える会となり有意義でした。この意見を1つでも実現して頂きたい。
50代	今回のような会は新たな取り組みとのことでしたが、とても良い機会だったと思います。市民と議員がやろうとしている事も知ることができる場でした。

感想

年代	記述内容
50代	具合的な施策についてお話を聞くことができ参考になりました。地域の意見を聞くことができました。
50代	●色々な意見を言ったり、聞いたり良い機会となりました。
60代	もっとたくさんの方がくるといいですね。
70代以上	地域の高齢者に対する問題や学校の勉強の方向性等、身近にふれる事ができたと思います。学校の先生方と話し合えたりしたことも良かったです。

項目		振返り内容	次回への提案等
開催期間 (6月)		↑	
開催時間 (90分)			
内容	受付		
	進行		
	第1部説明		
	SOUNDカード説明		
	総務教育	良かった	
	環境厚生	↓	
	産業建設	・路線バスがないため、PTAの方たちがいろいろ考えている ・地域の方たちで福祉バスを使い総合運動公園にバラを見に来る計画をしていた	
	記録 (写真・録音)		
	タイムキーパー		
	準備物確認		
	使用物品搬出入		
報告書作成	最後のまとめの担当を決めていなかった	実施体制計画表に「まとめ」が無かったので、追記を望む	
全体で気付いた点			

議会報告会 開催報告書 (1 班)

会 場	岩姫台集会所
実 施 日 時	令和 6 年 6 月 10 日 (月) 午後 6 時 00 分 ～ 午後 7 時 30 分
小 学 校 区 名	滝沢東小学校
出席議員氏名 (議 長 含 む)	齋藤 明 佐藤 澄子 日向 清一 小田島清美 山谷 仁 柳橋 好子 角掛 邦彦 井上 仁 (欠席者：)
参加人数 (議員除く)	合計 : 10 名

記録者 : 日向 清一

参加者の発言等一覧

委員会名：総務教育常任委員会

No.	発言等内容
1	タブレットが授業で有効に使えるように教師や保護者の研修を強化する 県大生などと連携して使い方の研修をするのもいいのではないか
2	持ち帰りが出来ることで不登校児童の学習環境の充実に向けた基本的な対策になる
3	タブレットの使い方を子どもから聞かれた場合、親の対応が十分に出来るのか心配
4	使用中の子どもの表情が分からない 何を考えているのかが掴めない環境にならないか心配
5	故障した際の補償や修繕の方法などはどうなるのか
6	辞書を開く機会が減ることで苦労して調べて分かる環境が少なくなる タブレットに固執することで心や友達関係の育ちに弊害が生じないか
7	Wi-Fi環境の整備が必要
8	タブレットの使用に集中しすぎて知識が身につかなくなるのではないか
9	家庭からタブレットを忘れると授業で使用できないこと
10	不正アクセスやゲーム、オンライン決済等の使用によるトラブル

参加者の発言等一覧

委員会名：環境厚生常任委員会

No.	発言等内容
1	睦大学を申し込んだが（F A X）受付されていなかった
2	福祉センターに高齢者の人たちが何しに来ているかわからない
3	就学前の健診増やしてほしい(発達障がい)
4	就学前の情報が乏しい(学童において)
5	放課後児童の居場所もっと多くても
6	福祉センター実際にかかわる職員の皆さんの要求
7	市民への啓発活動必要、知ってもらうことからのスタート 何をしてもらえるの？
8	福祉センターの役割は？ 何をどこまで、どんなことに対応してくれるの
9	一人暮らしの高齢者への対応は？ 誰がいつ、どんなことを、市でやれること、やれないこと
10	サービスの内容によっては遠くにいるとなかなか理解できない

参加者の発言等一覧

委員会名：環境厚生常任委員会

No.	発言等内容
11	分散型のほうが利用しやすい（金はかかるが）
12	一般世帯に対して何をしてもらえるか見えない
13	睦大学中央での開催でなく、講師を派遣しての開催も必要では
14	センターをどこに置くのか？
15	的確な相談を受ける体制がわからない
16	福祉バス出発から到着まで3時間かかる 利用できない
17	市役所周辺に施設集約しようとしているがアクセスがなく利用しづらい
18	福祉センターができたなら何が変わるのか、どういうサービスができるのか
19	現在の福祉センターは何をやっているのか、何をしてもらえるのかわからない
20	学童クラブが足りているのか、運営時間などわからない

参加者の発言等一覧

委員会名：環境厚生常任委員会

No.	発言等内容
21	公園にある遊具は見守る人がいないと危険では見守る人が必要では自由に使っていいのか
22	運転できなくなったら睦大学は行かない
23	福祉の具体的なイメージ 学校で取り組んでいる内容の枠を超えて考えていくべき(ボランティア教育)

参加者の発言等一覧

委員会名：産業建設常任委員会

No.	発言等内容
1	車のない人のためのバスの便を考える
2	免許返納者の通行手段確保と返納者への便宜（タクシー券等）
3	交通安全（特に子ども）のための道路拡幅、歩道整備
4	交通弱者が歩かなくてもよい発想、ウーバーの活用
5	中心拠点に入るテナントや会社とタイアップして（スポンサーになってもらって）バスを通す
6	市民の移動をシュミレーションして計画を立てる
7	人手不足解消のために自動運転バス運行（将来）
8	巢子の病院へ通院するために、マイクロバスを姥屋敷・一本木・川前を通して走らせる

アンケートのまとめ

小学校区：滝沢東小学校

【年代】

年 代	30歳未満	30代	40代	50代	60代	70代以上
合 計			1	2		2

感想

年代	記述内容
40代	様々な観点から学びをいただきました。ありがとうございました。
50代	議員の皆様と意見を交換できてとても有意義でした。こちらからもアイデアを出させて いただいてよかったです。アイデアを出し合うことは大切だと思います。ありがとうございました。
50代	地域についての様々なお話をお聞きすることができ、ありがたい思いをさせていただきました。 滝沢市の未来をそれぞれの立場から考えておられることを学びました。
70代以上	普段疑問に思っていた政策、課題等についていくらか解決できたようです。
70代以上	参加者が少なく思いました。

項目	振返り内容	次回への提案等	
開催期間（6月）			
開催時間（90分）			
内容	受付		
	進行		
	第1部説明		
	SOUNDカード説明	使用しなかった時間がない	名札を付け自己紹介をすることの検討
	総務教育		話し合いのテーマを当日に理解していない
	環境厚生		・テーマが難しい ・当日まで話し合いのテーマがわからない
	産業建設		話し合いのテーマを当日に理解していない
	記録（写真・録音）	委員長が撮影してくれた	
	タイムキーパー		
	準備物確認		
	使用物品搬出入		
報告書作成			
全体で気付いた点	アイスブレイクの必要性	報告会のテーマは事前に示されているものの、当日に理解して参加していない	

議会報告会 開催報告書 (2 班)

会 場	滝沢ふるさと交流館 (ホール)
実 施 日 時	令和 6 年 6 月 11 日 (火) 午後 6 時 00 分 ～ 午後 7 時 35 分
小 学 校 区 名	滝沢小学校
出席議員氏名 (議 長 含 む)	藤原 治 奥津 一俊 仲田 孝行 菅野 福雄 安部 理絵 鍵本 桂 角掛 邦彦 井上 仁 (欠席者 :)
参加人数 (議員除く)	合計 : 6 名

記録者 : 奥津 一俊

参加者の発言等一覧

委員会名：総務教育常任委員会

No.	発言等内容
1	宿題に取り組みやすくなるのかな？（ゲーム感覚）
2	子どもは早く家で使いたいと言っている
3	（持ち帰ったタブレットを）欠席連絡に使えないのかな（先生、親ともに負担軽減になる）
4	故障は心配
5	精密機械なので破損の対処は？
6	登下校時の破損が心配 なるべく持ち歩かなくていいように
7	家庭学習で使うなら、持ち歩かずに使うのがよいような・・・
8	取り扱い方法 壊すかも・・・！？ 子どもだけでなく親も弁償できないです
9	ゲーム機能とか悪用しないか 子どもたちの考える力が低下しないか
10	ゲーム等の楽しい面も活用させたいが、そればかりにならないように

参加者の発言等一覧

委員会名：総務教育常任委員会

No.	発言等内容
11	家庭によって通信環境の違いもあるので、使い方で差が出ないように
12	ネット環境は？ W i - F i のある家庭とそうでない家庭との格差が生じるのが心配
13	家庭でルールを決めているが守られるだろうか（生活リズム）
14	ネット環境の各家庭ごとにルール、バラつきあるのか
15	ネットで悪い情報にアクセスしてないか 持ち帰った家での利用のルール作りが必要では
16	先生方の力量 そもそも子どもたちのペースについていけるのか？
17	ネットにつなぐことで危険な目に遭うことはないか？
18	親が指導できるの？ 親がタブレットやスマホの機能についていけず指導難となる
19	兄弟がいたずらしないか 兄弟がいる場合、どうしても触りたくなる
20	字が書けなくなりそう！？漢字離れがおきて心配

参加者の発言等一覧

委員会名：総務教育常任委員会

No.	発言等内容
21	低学年には鉛筆で字を書く経験が必要かも・・・
22	I C T学習と、鉛筆と紙に触れる時間のバランス
23	ブルーライト（目、健康）情緒の安定

参加者の発言等一覧

委員会名：環境厚生常任委員会

No.	発言等内容
1	現在も相談できる体制は十分で、センター建設は不要である。自分でアクションを起こせばそれに応えてもらえるので、相談窓口の周知の強化が必要。
2	相談窓口が迷いそうです。（病院のように総合窓口があるといい）
3	制度や施設は充実していると思うがアピールが欲しい。
4	自身の子育て経験として、体力が必要であれば運動をして鍛えてきた。ボランティアでバドミントンをした時もその方のレベルに合うよう練習した。自分を鍛えることで社会参加することが大事。
5	盛岡市から転入してきて、放課後の預け先が学童しかない（児童センターが欲しい）。
6	公民館の有効活用（放課後の子どもの居場所）
7	地域のイベント活用の方がだいたい有料。無料で使える施設が欲しい。
8	物々交換イベントをもっと。
9	お年寄りと子どもの交流。老人ホームと保育園の併設はお互いにとってメリットがある（岩手県予防医学協会の幼老統合施設Cocoaのような）
10	新しい施設を造るなら室内で思い切り子どもが遊べる場所があればいい（北上市保健・子育て支援複合施設hoKkoのような）

参加者の発言等一覧

委員会名：環境厚生常任委員会

No.	発言等内容
11	「福祉」の定義をしっかりと示すべき（言葉が難しい。言葉の置き換えで、自身は「しあわせ」と捉えている）
12	NPO法人との連携。また、滝沢市にこだわらないライオンズクラブやロータリークラブとの交流（こども食堂など）
13	こんなに広大な滝沢なのに外で遊ばない子ども達 ⇒それを解決する福祉が必要
14	TVの前から動かないうちの親父 ⇒そのような人にも恩恵のある福祉が必要

参加者の発言等一覧

委員会名：産業建設常任委員会

No.	発言等内容 (交通弱者対策について)
1	かっこう号の乗り合い活用を
2	ライドシェアの政策を
3	ライドシェアができるといいですね
4	お年寄りの病院送迎政策を
5	大型バスからマイクロバスへ
6	交通弱者を家まで迎えに行けるサービスを
7	必要な時に来てもらえるシステム
8	ライドシェア広まるといいな
9	ドローンに物資を運んでもらうよう
10	福祉バスからチャグチャグバスにネーミング変更を

参加者の発言等一覧

委員会名：産業建設常任委員会

No.	発言等内容 (交通弱者対策について)
11	移動販売車
12	公共交通に乗らない（便数が減る、公共交通離れ、業者赤字）
13	高齢者にも使いやすいアプリの開発
14	小さめのバスで本数を増やす
15	交通網で滝小学区は市内で最も充実しているか？
16	買い物不便
17	利用者の調査実態を知ることが大切（対応した方法？）
18	免許証返納に対応するサービスの充実
19	免許証返納はなるべくしない（体を鍛える）

参加者の発言等一覧

委員会名：産業建設常任委員会

No.	発言等内容 (中心拠点を核とした交通網の整備について)
1	中心拠点計画について市民に周知を
2	滝沢駅や大釜駅などから市役所方面へのバスを
3	岩手県交通滝沢（営）を移転し巣子車庫～新滝沢（営）の定期便
4	中心拠点到市全体から往復できるアクセス機能の充実
5	中心拠点のハブ化を
6	中心拠点の交通網の整備
7	バスの多様化

アンケートのまとめ

小学校区：滝沢小学校

【年代】

年 代	30歳未満	30代	40代	50代	60代	70代以上
合 計		1	1	2		1

感想

年代	記述内容
30代	こういう取組は、とても素晴らしいと思います。子育て世代向けの会ということでしたが、小学校でお知らせが配られなかったので、もったいないと思いました。今回はテーマが決まっていましたが、市民の話したいテーマだともっと良いと思いました。ありがとうございました。
40代	議員の皆さんと、こんなに近くで対話できて嬉しかったです。これからも身近な市民の声が、政策のきっかけになることを願っています。
50代	様々な方々から3つのテーマについて、たくさんの意見を交流できたことがとても良かったです。実りのある意見交換会だったと思います。ありがとうございました。
50代	主体的に前向きな意見を述べられるPTA会員さんと会い、刺激になりました。お邪魔しました。
70代以上	とても内容の濃いテーマで、自分自身も勉強になりました。小学校区単位で設定したのはおもしろい試みだと思います。

項目	振返り内容	次回への提案等	
開催期間（6月）	特になし		
開催時間（90分）	90分～120分程度が適正	意見交換の時間延長も含め、最大120分	
内容	受付	良好	
	進行	良好	
	第1部説明	一般市民が理解しにくい内容	不要
	SOUNDカード説明	参加人数が少なかったため、手順どおりに実施	不要、若しくは紹介程度
	総務教育	参加者が少なすぎたが、密な意見交換ができた	
	環境厚生	建設的意見が多く見受けられた	継続すべし
	産業建設	交通弱者がいる認識が弱く、交通の便や中心拠点への整備への不満は持っていない方が多かった	産建の重点項目も地域差があることも踏まえ、次回の報告会へ挑む必要あり
	記録（写真・録音）	良好	
	タイムキーパー	良好（参加人数が少ないため）	参加者がテーマから逸脱しないように誘導する工夫が必要
	準備物確認	良好	
	使用物品搬出入	良好	
報告書作成	良好		
全体で気付いた点	テーマ選定したことによって、具体的な意見が把握できた	市民の声を広く聴くため、市民懇談会の開催も考慮すべき	

議会報告会 開催報告書 (3 班)

会 場	鵜飼小学校 (会議室)
実 施 日 時	令和 6 年 6 月 18 日 (火) 午後 6 時 00 分 ～ 午後 7 時 30 分
小 学 校 区 名	鵜飼小学校
出席議員氏名 (議長含む)	相原 孝彦 齋藤 明 鍵本 桂 日向 裕子 村木 香織 川口 清之 角掛 邦彦 (欠席者：)
参加人数 (議員除く)	合計 : 12 名

記録者 : 川口清之

参加者の発言等一覧

委員会名：総務教育常任委員会

No.	発言等内容
1	Wi-Fiの環境が整っていない家庭がある（補助が必要） ※複数意見あり
2	充電切れ等のトラブル等で、一斉に授業が始められないのでは
3	紙での学習とタブレットの学習と分けて考える。
4	正しく使ってほしいので、興味を持つことも大切
5	学力に差が出ないように、正しくセーブする
6	考える力が衰えるのではないか
7	漢字を書けなくなる
8	漢字アプリのドリルの答えが学校で教えているのと違う（はね、とめ、はらい等）
9	算数ができなくなるのではないか
10	タブレットのドリルは3択なので、あてずっぽうに答えてしまう

参加者の発言等一覧

委員会名：総務教育常任委員会

No.	発言等内容
11	他人の写真を勝手にネットに載せてしまわないか
12	別の目的に使用してしまう
13	使用の時間を大切にして、姿勢も悪くならないように短時間で
14	正解のみを出して終わりの学習にならないのか
15	過程を大切にする学習が十分にできないのではないか
16	タブレットの見すぎ（勉強し過ぎではないか）
17	タブレットやスマホの長時間使用で、更に視力の低下が心配される ※複数意見あり
18	得た情報をうのみにしてしまわないか
19	セキュリティ設定の難しさ
20	持ち帰りの準備が必要 専門の支援員がいれば

参加者の発言等一覧

委員会名：総務教育常任委員会

No.	発言等内容
21	持ち帰り時の破損（補償がない）※複数意見あり ケースは親負担
22	毎日運べるようにして欲しい タブレットも教科書も重い
23	ギガスクール構想、いつまで続くのか いずれ持ち出しにならないか
24	コミュニケーションが取れなくなるとの心配もある
25	親が教えてあげることが減る
26	おしゃべりしなくなるが、無口ではいけないと思う
27	対面での対話が少なくなり、情報が一方通行
28	近所での対話が少なくなり、コミュニケーションがとれない
29	ガキ大将が最近いない（タブレット学習が進むにつれ、イジメにつながらないか）
30	今の子はかわいそう もっと外で遊べば良いのに

参加者の発言等一覧

委員会名：総務教育常任委員会

No.	発言等内容
31	心配ではなく、何かできるようになる！という方法を考えていきたい
32	I T 端末、インターネットを子ども達を使うことになって視野や世界が広がる

参加者の発言等一覧

委員会名：環境厚生常任委員会

No.	発言等内容
1	福祉センターの人の確保が必要
2	社協の人数が少なすぎる、貧弱極まりない (市ではなく村の水準だ)
3	こんなメリットがあることをロコミで伝えるシステムが必要
4	滝沢市だけ総合福祉センターが無い
5	保健師の充実が必要
6	近隣と情報交換、先進地の訪問が必要
7	現在の福祉センターは土日使われていない
8	使いやすい場所、見やすい場所に必要 立地の良いところ
9	薄暗い場所なので、健診なら行くが行きづらい
10	きちんとした整備施設でなければならない

参加者の発言等一覧

委員会名：環境厚生常任委員会

No.	発言等内容
11	本当は行きたいけれど、足がなくていけない
12	少子化が問題視されているが、今は男性の方が結婚をしたがらない
13	福祉センター幼児健診の際、全部使っても狭い
14	栄養士が一人しかいない 現場に行って指導できるのか
15	困りごとの相談もやるスペースがあるのか
16	保健師充実が必要 地域に入れるのか
17	施設は入りやすい場所、見える場所が必要

参加者の発言等一覧

委員会名：産業建設常任委員会

No.	発言等内容 (交通弱者対策について)
1	地域で使っていない車に自治会内の弱者を拾い集めて中心拠点に届ける
2	中心拠点をハブにした路線改修
3	市役所と I G R ・ J R の各駅をつなぐバス路線を
4	ターゲットを絞って手を差し伸べられる交通網にする
5	住民ニーズの把握
6	思い切って変えていく仕組みを (時間・便数)

参加者の発言等一覧

委員会名：産業建設常任委員会

No.	発言等内容 (中心拠点を核とした交通網の整備について)
1	福祉バスのネーミング変更
2	チャグチャグバス (仮)
3	福祉バスに快速便、通常便を走らせる
4	タクシー利用補助券を配布
5	免許返納者へのタクシー券の配布
6	デマンド交通の導入
7	盛岡市の「でんでん虫」のようなバスの運行を
8	お買い物バスを増やす
9	ICT・スマホを使ったタクシーの予約

アンケートのまとめ

小学校区：鶴飼小学校

【年代】

年代	30歳未満	30代	40代	50代	60代	70代以上
合計			2	1	5	3

感想

年代	記述内容（●は、印象に残っている内容。意見交換（各テーマ））
40代	●ICT教育については、興味深く討議させてもらいました。
40代	●市政について、3つの切り口で考えることができた。本会の周知には課題がある。
50代	●重い腰を上げて良かったと感じました。もう少し若い方たちが参加できるような会になるといいですね。ありがとうございました。
60代	●いろいろ意見交換ができて楽しかったです。案内は学校を通して全戸に配布することで、参加者が増えると思います。
60代	●普段考えることが少ないことにも、思いをはせることができました。
60代	●参加人数は限られていましたが、「ワークショップ形式」での互いの考え方、意見を確認し深められた。学校開催で親の参加が見られなかったのは残念。
60代	保護者が少なく学校を会場にしなくてもいいのでは。子育て中の方々は多忙、先生の出席も恐縮に思います。議員さん日々ご苦労様です。
60代	●市民福祉センターについての意見交換が良かった。もっともっと掘り下げて議論を。

感想

年代	記述内容
70代以上	●再び市民懇談会を。
70代以上	大変良かった。
70代以上	●市民が多数参加することが望ましい。

項目		振返り内容	次回への提案等
開催期間 (6月)		↑	
開催時間 (90分)			
内容	受付		
	進行		
	第1部説明		
	SOUNDカード説明		
	総務教育	良かった	
	環境厚生		
	産業建設		
	記録 (写真・録音)		
	タイムキーパー		
	準備物確認		
	使用物品搬出入	↓	
	報告書作成	最後のまとめの担当を決めていなかった	実施体制計画表に「まとめ」が無かったので、追記を望む
全体で気付いた点	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会の役員が多かった ・趣旨を理解してない方がおり、終了時間をオーバーした ・小学校で行うのはどうかとの投げ掛けがあった 	<ul style="list-style-type: none"> ・趣旨の徹底を ・小学校以外の施設で行うように 	

議会報告会 開催報告書 (3 班)

会 場	北部コミュニティセンター
実 施 日 時	令和 6 年 6 月 21 日 (金) 午後 6 時 00 分 ～ 午後 7 時 00 分
小 学 校 区 名	一本木小学校
出席議員氏名 (議 長 含 む)	稲荷場 裕 相原 孝彦 遠藤 秀鬼 日向 裕子 村木 香織 川口 清之 角掛 邦彦 井上 仁 (欠席者：)
参加人数 (議員除く)	合計 : 1 名

記録者 : 川口清之

参加者の発言等一覧

委員会名：総務教育常任委員会

No.	発言等内容
1	文字が書けなくなるのでは
2	親もわからない
3	使用時間の制限の仕方
4	目が悪くなるのでは
5	いじめが増えないか？
6	タブレットは不登校対策として、友達とのコミュニケーションを取る上で必要では
7	フィルタリングはきちんとかけられているのか？
8	リテラシー教育が必要
9	タブレットを使った誹謗中傷
10	世界のことを調べられるのは良い

参加者の発言等一覧

委員会名：環境厚生常任委員会

No.	発言等内容
1	待機児童はまだいるのか？
2	社協では、人が少なすぎて困った
3	介護認定の人が一人しかいなくて、困っている人がいる
4	子どもが急に熱がでて、病児保育に困ってしまう
5	老々介護もたいへん 81歳のおばあちゃんがいるが、大変そう
6	真面目な人ほど生活に困っている
7	民生委員の人が近くにいるので、相談に乗って欲しい
8	介護施設に入りたいが、高くて入れない
9	市民センターが市役所の裏にあるが、分かりにくい
10	認定の時期が遅れているにもかかわらず、市役所も遠いので行けない

参加者の発言等一覧

委員会名：産業建設常任委員会

No.	発言等内容
1	定期的なバス運行でも乗車する人がいなければ無駄になる
2	バス停まで出るのが大変な方が多くなっている
3	子どもたちがバス停に出るまで距離があり、天候によっては可哀想な時もある
4	タクシー利用補助券を配布
5	自動運転バスの運行
6	市役所方面へのバス路線を

アンケートのまとめ

小学校区：一本木小学校

【年代】

年 代	30歳未満	30代	40代	50代	60代	70代以上
合 計					1	

感想

年代	記述内容
60代	参加者が私一人で、申し訳なく思います。議員の皆様と意見交換できてとても有意義でした。ありがとうございます。

項目		振返り内容	次回への提案等
開催期間 (6月)		時期としては良かったと思う。	
開催時間 (90分)		↑	
内容	受付		
	進行		
	第1部説明		
	SOUNDカード説明		
	総務教育	良かった	
	環境厚生		
	産業建設		
	記録 (写真・録音)		
	タイムキーパー		
	準備物確認		
	使用物品搬出入	↓	
報告書作成	最後のまとめの担当を決めていなかった	実施体制計画表に「まとめ」が無かったので、追記を望む	
全体で気付いた点		小学校の先生も出席しなかった	各小学校区でPTAの連絡網を活用して動員して貰うようにした方が良い

議会報告会 開催報告書 (1 班)

会 場	滝沢中央小学校 (多目的教室)
実 施 日 時	令和 6 年 6 月 27 日 (木) 午後 6 時 30 分 ～ 午後 8 時 00 分
小 学 校 区 名	滝沢中央小学校
出席議員氏名 (議 長 含 む)	日向 清一 佐藤 澄子 齋藤 明 小田島清美 柳橋 好子 山谷 仁 角掛 邦彦 井上 仁 (欠席者 :)
参加人数 (議員除く)	合計 : 10 名

記録者 : 日向 清一

参加者の発言等一覧

委員会名：総務教育常任委員会

No.	発言等内容
1	社会とのつながり、人間関係の大切さ
2	孤立化させない ・情報リテラシー ・情報のコントロール ・A I の活用
3	活用実態の見える化 ・十分でない要因 ・学びの機会の確保においては有用
4	家庭のW i - F i 環境調査が必要
5	学習ソフトの開発（市として） ・学校連絡等にも使えるように ・授業内容の共有化
6	家に持ち帰って、授業の延長になりそう ・家族とのふれ合いを大切にしてほしい
7	ニュースが早い
8	上手に使えるかどうか不安
9	家庭学習での活用の推進、学び
10	視力がの低下が心配

参加者の発言等一覧

委員会名：総務教育常任委員会

No.	発言等内容
11	破損が心配、状態によって負担の仕方
12	ゲームをしないようになっていると良い
13	ランドセルが重くなるので心配
14	情報リテラシー ・不登校対策

参加者の発言等一覧

委員会名：環境厚生常任委員会

No.	発言等内容
1	気軽に情報交換・悩み相談できる体制
2	地域共同による居場所づくり
3	多様な悩み、行政でできないことをできるのが福祉センター
4	今ある組織機能の現状、課題把握
5	総合福祉センターのハブ的機能
6	総合施設に（1か所にあることによって利便性が高い）
7	自治会の活用（分散型） 施設ごとの連携
8	子どもの預け先
9	居場所づくり
10	地域ごとの居場所づくり

参加者の発言等一覧

委員会名：環境厚生常任委員会

No.	発言等内容
11	悩み相談ができる施設
12	学校から帰ってから親が帰ってくるまで何をしているのか？
13	子どもの見守り
14	子育ての安心
15	環境の違いによってどんな支援できるか
16	精神面のサポート(心のセーフティネット)
17	ひとり親の困りごとが把握できるルール作り
18	親が返ってくるまでの時間を充実させる
19	子どもの気持ちを大事にすること
20	こども食堂のアピール

参加者の発言等一覧

委員会名：環境厚生常任委員会

No.	発言等内容
21	経済的な部分の支援は難しい

参加者の発言等一覧

委員会名：産業建設常任委員会

No.	発言等内容
1	ドアツードアでなければ弱者救済にならない。
2	シルバー人材センターの活用（ボランティア活動のキーパーソンを見つける）
3	元気な年寄りに働いてもらう
4	タクシーチケットを出す しかし単にバスやタクシーの問題ではない
5	各地のボランティア団体活動に支援する
6	ニーズの実態把握が必要
7	広域的連携が必要（行政・地域・企業）
8	中心拠点に入るテナントや企業にスポンサーになってもらって循環バスを走らせる
9	NPO法人を設立して広域的な地域連携をする

アンケートのまとめ

小学校区：滝沢中央小学校

【年代】

年 代	30歳未満	30代	40代	50代	60代	70代以上
合 計				2	2	2

感想

年代	記述内容
50代	滝沢市のことを改めて考える機会をいただきました。とてもあり難い場を提供していただきました。
50代	和やかな雰囲気を作ってください安心して考えを伝えることができました。今後とも市民の声を聞いていただけると感謝申し上げます。
60代	テーマが事前に周知されていればもっと議論ができたかな。でも充実した時間でした。
60代	もっと時間があればよかったと思います。回数を増やしてほしい。
70代以上	事前に調査をして市民の困っていることや関心を持っていることをテーマにしたほうが活発な意見交換になるのでは。
70代以上	意見があるのに時間でせめられた。

項目	振返り内容	次回への提案等	
開催期間（6月）			
開催時間（90分）			
内 容	受付		
	進行		
	第1部説明		
	SOUNDカード 説明		テーブルごとに自己紹介をすることの検討
	総務教育		話し合いテーマを当日に理解していない
	環境厚生		〃
	産業建設		〃
	記録（写真・録音）	委員長が撮影してくれた	
	タイムキーパー		
	準備物確認		参加者の名札を付ける
	使用物品搬出入		
報告書作成			
全体で気付いた点	<ul style="list-style-type: none"> ・PTAの参加が少ない ・学校からのアプローチも少ないのでは 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの保護者、若い人たちの参加の工夫 ・議員からの声掛けも必要 	

議会報告会 開催報告書 (2 班)

会 場	滝沢市多目的研修センター（研修室）
実 施 日 時	令和 6 年 6 月 27 日（木） 午後 7 時 00 分 ～ 午後 8 時 40 分
小 学 校 区 名	篠木小学校
出席議員氏名 (議長含む)	藤原 治 奥津 一俊 仲田 孝行 菅野 福雄 安部 理絵 鍵本 桂 角掛 邦彦 井上 仁 (欠席者：)
参加人数 (議員除く)	合計 : 35 名

記録者 : 奥津 一俊

参加者の発言等一覧

委員会名：総務教育常任委員会

No.	発言等内容
1	勉強とは別のゲームとかで使うことがあるのか。セキュリティ面で心配。使用にあたっての制限は？悪用されないようにフィルターをかける。
2	指導者のレベルにバラツキはないのか？端末の操作の習得に差がある。先日、タブレットを持ち帰り、大文字の入力の仕方がわからない！と子どもに言われ戸惑いました。アナログの親はついていけません。
3	書くことが少なくなると字がへたになるのではないか？タブレットって何？タブレットを使うと何がいいの？親がついていけない。タブレット学習のメリット、デメリット。
4	アナログの宿題（ノート）との併用について、親がいまいち理解していない。使い方が親より子どもの方が詳しい。たくさんもの（こと）を知るにはいいけど、“考える”ことを忘れてしまう？
5	小学校の時から使用することで、IT、デジタルの良いこと、悪いことを教育で学べるので、私はいいと思う。教諭（担任）と子どものタブレットをリアルタイムでつなぐ。
6	私の孫は3歳ですが、今はタブレットでなく、それらしいもので静かに熱中している。ほかに熱中するものがないか、将来について心配になる。
7	学習以外で使わないか。本当に宿題のためだけに使ってくれるのか。時間内に終わらない時があるのが心配。
8	子どもの視力の低下、ブルーライト、子どもの目への影響が心配。目が悪いので、これ以上悪くなるのが心配。
9	宿題を学童でやっているが、家庭でしか使用してはダメというのがあるのか。だとすると、どのように時間を作るのか。
10	どんどん使え。もっと活用しろ。そもそもタブレットが重い。算数のタブレット学習を見たが、答えまで行きつく内容部分が出てこないのが大変そう。

参加者の発言等一覧

委員会名：総務教育常任委員会

No.	発言等内容
11	タブレットのみに捉われてしまうこと。ネット環境の不安。防犯対策。睡眠に障害が出る。タブレット学習を楽しく行っているが、夢中になりすぎて寝なくなってしまふ。寝るのが遅くなってしまふ。
12	学習の進め方を知りたい。タブレットの使い方。タブレットの価格は生徒一人当たりいくらになるのか。
13	パソコンを使用する環境が家庭で整っているのか。滝沢市内でW i - F i 機能を無料で活用（セキュリティ含む）。過程でタブレットの学習をして、通信環境は大丈夫？
14	タブレットを持ち帰って学習させるのは有効だと思うが、家庭の環境の違いにどう対応するのか。
15	専用のケースがなく、そのままランドセルに入れて持ち歩いている。壊さないか心配。タブレットを壊してしまったら・・・壊してしまった時の対応。市でタブレットの故障、破損等を保障。
16	破損しないよう、専用カバーが欲しい。故障するのが気になる。
17	いつもは面倒くさそうにしている宿題が、効果音付きで楽しみながらできて、集中できていた気がする！情報モラル教育は低学年のうちから。
18	家で充電ができなかった。専用の充電でなくても、使用可能なタイプにしてほしい。漢字が覚えられなくなるのではないかな？授業でカバーできるなら良いが。
19	学校から自宅までの距離が遠いので壊さないか不安。タブレットと教科書の重さで大変。
20	ゲーム感覚で勉強できるので本人はよいと思うが、実際に字を書くことが成長に良いのではないかなと思う。

参加者の発言等一覧

委員会名：環境厚生常任委員会

No.	発言等内容
1	みんなが気軽に話し合える、安全安心を与える場の創設が必要。「誰かがやるだろう」という考えは捨てなければいけない。 (高齢者、子どもも含めすべての世代が対象)
2	実際に行動する人が少ない。「こういうものがあつたらいいな」と思う人も多いが、どうしたら実行できるかを一人一人が考えることがとても大切と感じる。「できる人がやる」を「誰でもできる」に。(総合福祉センターの基本構想に関係)
3	利用している福祉団体との話し合いをして進めるべき。
4	福祉センターに憩いの場(カフェ、レストラン、地域を活かした産直)があればいい。
5	センターで介護ヘルパーとかの免許がとれると、遠くまで行かなくてもいい。
6	子ども支援で、こども食堂や遊び場があればいい。
7	相談センターの充実が必要。 (高齢者、子どもも含めすべての世代が対象)
8	(地域活動支援)人材バンクをもとに、情報提供や調整してくれるコーディネーターの配置。他市では学校に配置されている。
9	社協の職員が少ない。奥州市は本市の倍いる。本市は福祉に入れる力が薄いと感じる。
10	所管事務調査の調査ポイントのとおりになったら素晴らしいと思う。

参加者の発言等一覧

委員会名：環境厚生常任委員会

No.	発言等内容
11	市民福祉センターでも子育てサロンをしているが、周知が足りないのかみんなビッググループに行ってしまう。
12	ひとり親世帯が増えている。フードパントリーで全対象者に通知は出しているが、利用しているのは2～3割程度。 (子育て支援の観点から)
13	元村東自治会で月2回高齢者に手作り弁当（自治会負担）を配付していると聞いた。ひとり親世帯にも拡大できればいいのでは。 (こども食堂の観点から)
14	ひとり親世帯への食事、洗濯、お風呂等のサポート支援。 (子育て支援の観点から)
15	ひとり親だけでなく、近くに頼れる人がいない共働き世帯にも支援は必要。 (一時預かりなど)
16	買い物や通院の間、当日予約などで気軽に子どもを預ける先が欲しい。 (一時預かりの観点から)
17	病児保育を増やして欲しい（施設数もしくは定員数）
18	学童の利用料が高い。近隣市町では数百円と聞いた。 (子育て支援の観点から)
19	放課後の子ども達を楽しめる場所の確保（送迎、使用道具等含む）。子ども達の声が大きいと近隣住民から苦情があり、スポーツ活動に制限が出ているため。 (子育て支援の観点から)
20	やはぱーく（矢巾町）のような施設を滝沢市にも作ることで、子育て世代も地域に関わっていこうと思うと思う。 (子育て支援の観点から)

参加者の発言等一覧

委員会名：環境厚生常任委員会

No.	発言等内容
21	雨の日に子どもを遊ばせる場所がない。せっかく中心拠点ができるのだからそこに造ってはどうか。(子育て支援の観点から)
22	滝沢総合公園が遊びやすい環境になればいい。(ロックガーデンの充実。屋根があって休める空間)(子育て支援の観点から)
23	福祉センターの建設場所は。施設の分散化はどうか。または、大釜駅北側は。

参加者の発言等一覧

委員会名：産業建設常任委員会

No.	発言等内容 (交通弱者対策について)
1	予約制の乗り合いタクシー
2	妊産婦の陣痛タクシー券
3	移動販売車や宅配の充実
4	スクールバスの導入
5	タクシーの活用 (IT・タブレットによる配車管理)
6	交通の便を考えてほしい 乗り合いのタクシーを利用 (割引料) 田・畑が遠いので免許返納ができない
7	高齢者へタクシー料金助成を
8	栃内第二病院・滝沢中央病院へのタクシーの役割をするものが欲しい
9	バスの本数も減っていて、タクシー会社も倒産していてなかなか来ない 市営のタクシーが欲しい
10	昨年より駅の無人化、スクールバスが欲しい (小岩井地区)

参加者の発言等一覧

委員会名：産業建設常任委員会

No.	発言等内容 (交通弱者対策について)
11	通学時のバスの増便
12	障がい児の通学手段・補助
13	県道の通学路の歩道が狭い（二人歩いてキツキツ）
14	バスまたはマイクロバスの本数増やす
15	大釜駅構内の待合室の充実（広さ・図書等）
16	スクールガードを18～19年しているが通学路の拡幅をし、待場踏切の改善を
17	交通手段もだが、渋滞が気になる 出ていく気がなくなる
18	滝沢南中の自転車通学道が危険（大沢地区の信号、横断歩道）

参加者の発言等一覧

委員会名：産業建設常任委員会

No.	発言等内容 (中心拠点を核とした交通網の整備について)
1	市が自動運転特区に手を上げる
2	歩道の整備
3	拠点まで行ける道を増やす
4	路線バスを増やす
5	通学路の拡張、通学路の拡張、安全ポール
6	大釜駅からマイクロバスの運行
7	通学路が冬場ツルツルで危ないので融雪剤で対応してほしい
8	中心拠点到はるが非でも向かう理由がわからない
9	小型マイクロバスの運行
10	大釜駅からビッグループの運行があるとありがたいです

参加者の発言等一覧

委員会名：産業建設常任委員会

No.	発言等内容 (中心拠点を核とした交通網の整備について)
11	高齢者が多く、交通手段が車の多い地域であり危険な交差点には信号をつけてほしい
12	学校周辺ゾーン30
13	I G R と J R 田沢湖線の時間調整
14	歩行者・自転車利用者のため街路灯の設置
15	利用できるバスの確保
16	大釜駅からビッグループ行きのバスみたいなものがあればいい (小型車)

アンケートのまとめ

小学校区：篠木小学校

【年代】

年 代	30歳未満	30代	40代	50代	60代	70代以上
合 計		4	13	5	2	7

感想

年代	記述内容
30代	このように進めたいという計画ありきで、それについてのディスカッションでも良かった気がする。
30代	子ども・子育て支援についての意見交換がもっと身近な形でできていたらいいなと感じました。
30代	色々な意見を聞けてよかったです。
30代	意見をというより議員の話が長かった。
40代	給食費無料化は必須だと思います。子どもが減ると消滅します。
40代	皆さんの意見が多様性に富んでいて、参考になりました。
40代	本日の意見が見える形で実現することを願っています。
40代	世代の違う方々の色々な意見を聞くことが出来て良かった。

感想

年代	記述内容
40代	気の利いた意見を出せず申し訳ないです。皆さんの意見を聞いて逆に勉強になりました。この意見を活かして活動頑張ってください。
40代	市内のこと知らなかったことがたくさんあって、とても勉強になりました。ありがとうございました。
40代	ひとり親の支援だけでなく、両親がいる子どもの支援も必要だと思います。
40代	色々な世代の方の意見が聞けて、有意義な時間でした。皆の思いは一つ。滝沢市をよくしたい!!の気持ちがあふれる会でした。
40代	今までの願望を声に出し、ほかの方々も賛同してもらえたので良かったと思いました。いろいろな声を聞けたのも良かったです。
40代	テーマにそぐわない意見を記入したかもしれませんが、色々な話が聞けてよかったです。
40代	議員さんが親切で話しやすかったです。
40代	色々な意見が聞けてとても有意義な時間でした。ありがとうございました。
40代	もう少し幅広いテーマにすると意見もたくさん出るのではないかな。
50代	子どもたちの安全・体験の充実のために、保護者の方がたくさんのお意見をお持ちで意識が高いことがわかりました。
50代	異年齢の交流でいろんな自分の知らなかったお話を聞くことができ、勉強になりました。
50代	ご苦労様です。言いたいことを言えたと思います。

感想

年代	記述内容
50代	SOUNDカードの時間は無くてもよい。各テーブルの司会が上手にふるまってくれば良い。
50代	本日は、貴重な時間を設定していただきありがとうございました。 子どもたちや地域の皆さんは、とても学校に協力的に取り組んでいます。是非議員の皆様のお力で、本日出された意見を1つでも2つでも唱えていただけたら嬉しいです。宜しくお願いします。
60代	普段考えていることをうまく話せたと思います。
60代	議会報告会、イメージと違っていた。話し合いだと思わなかった。
70代以上	自分の思い、考え、感じていることの話聞いてもらえるのは非常に良い。
70代以上	調査研究だけで意味なし。
70代以上	若い女性の意見があり、大変良い会議である。 ただ、内容が多く、議会で生かしてほしい。
70代以上	地域に調査に来るが、回答が無く調査の意味がない。
70代以上	何か進展していくとは思えないようだ。具体的な話にならない。
70代以上	時間が短い。
70代以上	時間が足りない!!

項目	振返り内容	次回への提案等	
開催期間（6月）	特になし		
開催時間（90分）	90分～120分程度が適正	意見交換の時間延長も含め、最大120分	
内容	受付	・開始時間過ぎても多くの方が来られた ・配布資料が不足した	資料不足は回避すべき
	進行	受付、配置テーブル、不足資料の関係で少し遅れて開催した	
	第1部説明	不要かもう少し短くてよい	報告会という「題名」の中、議論必要
	SOUNDカード説明	参加人数多い場合不要	・参加人数が不明で3テーブルの場合、不要 ・紹介程度で良い
	総務教育	参加者が多く、様々な意見が出た	多く来た場合の進行等の対応が必要
	環境厚生	・建設的意見が多く見受けられた ・テーマ外の発言が見受けられた	・継続すべし ・該当する委員会へ誘導する手法を模索必要がある
	産業建設	・篠木地区も中心拠点へのアクセスや公共交通への不満は少ない地域だった ・十何年も前から、交通弱者や公共交通を重点項目に置き進展が無い	地域差がある重点項目に意見をいただく難しさをどう採配するかが必要
	記録（写真・録音）	良好	
	タイムキーパー	全体を見渡すことが必要で、ワークショップ以外の人の配置が必要だったのでは	振り返りの件、検討要
	準備物確認	修正検討必要(参加人数が想定できなかったことにより、座席数不足による追加配置作業が必要となった)	
	使用物品搬出入	資料の不足	
報告書作成	様式3の記入方法（1列目）の統一		
全体で気付いた点	テーマ選定したことによって、具体的な意見が把握できた	・テーマ設定に対する意見は、賛否あった ・テーマ設定した理由を明確に出だして説明する必要があるのでは	

議会報告会 開催報告書 (1 班)

会 場	姥屋敷多目的研修センター
実 施 日 時	令和 6 年 7 月 13 日 (土) 午後 7 時 00 分 ～ 午後 8 時 30 分
小 学 校 区 名	姥屋敷小学校
出席議員氏名 (議 長 含 む)	日向 清一 佐藤 澄子 齋藤 明 山谷 仁 柳橋 好子 小田島清美 角掛 邦彦 井上 仁 (欠席者：)
参加人数 (議員除く)	合計 : 7 名

記録者 : 日向 清一

参加者の発言等一覧

委員会名：総務教育常任委員会

No.	発言等内容
1	学校のW i - F i 環境は十分か？
2	ブルーライトなど眼に良くないのでは
3	タブレットのシステム制限は十分か？
4	家庭のW i - F i 環境は十分か？
5	皆が平等に使える環境が望ましい
6	タブレットのシステム制限は十分か？
7	デジタル教材は十分か？先生への訓練は十分か？
8	持ち帰ってからのセッティング(PW-10)が難しかった
9	テレビゲーム、タブレット、ユーチューブ、1日中画面、眼に悪い
10	授業参観では、先生に子どもが声をかけるなどしている様子が見られた

参加者の発言等一覧

委員会名：総務教育常任委員会

No.	発言等内容
11	5月のゴールデンウィークに持ち帰ってきたが、特に今のところ問題は感じていない
12	デジタル任せで自分の手で何かをする、じっくり取り組むということができていない
13	本や図鑑には興味を示さないが、デジタルには群がる、本が読むのが苦手になっている
14	プログラミング教育が主流になってきているので、大人も理解できるようにしていくことが大切

参加者の発言等一覧

委員会名：環境厚生常任委員会

No.	発言等内容
1	各課題について広く深いため、部門ごとに分け確実な成果を上げるべき
2	設備計画段階で多方面のスペシャリストの提言を受けるべき
3	何をどこに相談できるかということが必要な人に広報すべき
4	悩みがあってもすぐ相談する場がない
5	移動福祉センター
6	様々な人たちと交流できる場所(健常者と障がい者等、モルックやボッチャなど通して)
7	子育てにおいてスキルを持った人が必要
8	地域活動で欠席者が多く作業が人手不足
9	すべての市民に各種のサービス
10	子どもが困ったときに頼れる高いレベルの人材情報

参加者の発言等一覧

委員会名：環境厚生常任委員会

No.	発言等内容
11	学校の交流(田舎の学校の体験)
12	動けなくなる前の対策
13	安心して相談できる体制
14	福祉施設は障がい者、子どものみの場所というイメージをなくすべき
15	新しい商業施設に併設すると利用しやすい
16	老人の運動施設の充実
17	歩行の施設がもっと欲しい(クアオルト)
18	今の福祉センターは狭すぎる
19	民生児童委員の在り方
20	市からの自治会に割り当てられる「〇〇委員」多すぎる →見つけられない

参加者の発言等一覧

委員会名：産業建設常任委員会

No.	発言等内容 (交通弱者対策について)
1	交通弱者の定義は？ 弱者という言葉を考える→交通不便地域、交通不便者対策にしては？
2	市が交通弱者の救済を本気で考えること（介護タクシー、市の補助金で低額タクシー、小型バスなど）
3	姥屋敷は運転免許がなければ陸の孤島状態で、子ども同士で買い物や図書館などへ行く体験もできない
4	道路インフラの整備が第一 現在の鬼越～運動公園の道路のカーブを大幅に改修（直線道路の幅員とカーブの幅員が同じで危険）
5	各地域のニーズの把握 議員は地域の人々の現状をしっかりと見ること
6	高校生の送迎を一緒にやろうとしたが現実是个々での送迎になっている もしもの時のために低料金でタクシーを頼めるとよい

参加者の発言等一覧

委員会名：産業建設常任委員会

No.	発言等内容 (中心拠点を核とした交通網の整備について)
1	中央の催し（チャグチャグ馬コ、滝祭、さんさ踊りなど）へのバス運行
2	県外調査の結果、1億円で中心拠点への放射線状のバス路線可能
3	姥屋敷を農業だけでなく、観光拠点として考える ロープウェイを設置して交通と観光の両問題を解決する
4	中心拠点が全市民のためになる交通対策が求められる

アンケートのまとめ

小学校区：姥屋敷小学校

【年代】

年代	30歳未満	30代	40代	50代	60代	70代以上
合計			1	1	2	3

感想

年代	記述内容
40代	半分も話せませんでした、少しでも話ができ良かった。
50代	皆さんが知っている基本的な情報しか議員さんから聞けなかった。
60代	出張議会…議員が市民の声を聞く方法として。
60代	良いこととは思いますが、なかなかいいアイデアが出なくて申し訳ない。
70代以上	また実施して欲しい。
70代以上	つっこんだ話が足りなかったように思う。時間が足りない。
70代以上	普段話さない住民の意見を聞いたのが良かった。

項目		振返り内容	次回への提案等
開催期間（ 月）			
開催時間（90分）			昼の開催も検討
内 容	受付		
	進行		
	第1部説明		
	SOUNDカード 説明	遅れて参加したときに理解できない	テーブル毎に自己紹介をすることの検討
	総務教育		話し合いテーマを当日に理解していない
	環境厚生		〃
	産業建設		〃
	記録（写真・録音）	委員長に撮影してもらった	
	タイムキーパー		
	準備物確認		参加者の名札を付ける
	使用物品搬出入		
報告書作成			
全体で気付いた点		土日の昼の開催も検討	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの保護者の参加の工夫 ・ 若い人たちの参加の工夫 ・ 議員からの声掛けも必要

滝沢市議会

<https://www.city.takizawa.iwate.jp/shigikai>

岩手県滝沢市中鶴飼55（市役所4階）